



愛知県重心守る会
LINE公式アカウント
是非、ご登録ください！

むつみ



愛知県重症心身障害児（者）を守る会
名古屋市中区古渡町9番18号
社会福祉法人 むつみ福祉会内
TEL(052)322-5049

今年の梅雨はあっという間に過ぎ去り、暑い日が続いていますが、みなさまお変わりないでしょうか。5月17日の総会は、ティンクルなごやで通常開催とし、60周年記念コンサートも開催いたしました。たくさんの会員のみなさまに参加頂き、無事に全議案に承認いただきました。記念コンサートは、ゆったりと癒しの時間となり、こどもたちも一緒に楽しいひと時を過ごしました。豊橋から朝早くからお越し頂いた「ぽかぽか」のみなさま、本当にありがとうございました。ヴァイオリン、チェロ、ピアノそして声楽。参加していたみなさんが自然と笑顔になり、音楽の力を感じました。当日聴けなかったみなさんにも感じてほしいと思い、本会ホームページより閲覧できるようにしてありますので、ぜひ鑑賞してください。

早いもので、愛知県重症心身障害児（者）を守る会は、60年を迎えました。私自身も60年を振りかえろうと、本会の元となる全国守る会の歴史を再度見直してみました。先陣より語り継がれてきた内容も自分自身で確認してみると違う見方が出来るものです。私たちの子どもたち、重症心身障害児者は、90年前、人として受け入れてもらっていませんでした。障害が重く社会に貢献できない者に国のお金は使えないとなんの制度もありませんでした。学校にさえ、通わせてもらえませんでした。そんな社会の中で障害のある子を産んだ母親や家族は、どんなにつらかったでしょう。どんなに願っても祈っても良くならない我が子を育てる気持ち、少しでも良くなると聞けば、なんでもどこへでも連れて行ってやってみる。そして打ち砕ける、その繰り返しだったと思います。産まれたことを隠すように生きていた時代です。そんな中、我が子を信じ、愛し、社会の光の中に入れてたいと行動した母親たち・・・それが、全国守る会の前会長である北浦会長と数人の母親たちでした。国とつながらなければ、この子たちを救えない。なんとかこの子たちの事を理解してもらうため、「たとえどんなに障害が重くても真剣に生きているこの命を守って下さい」と厚生省、大蔵省、議員会館の間を何度も往復し訴え続け、そして厚生大臣の目にとまり、はじめて重症心身障害児のために国家予算を頂けるようになりました。その日から60年がたち、たくさんの方の力により多くの制度ができ、生活が成り立っています。ですが、何もせずにこの生活が永遠に続くことはありません。この子たちを守っていくために、これからも活動が続けていかなければなりません。先陣の方への感謝の気持ちを忘れずに行動していきたいと思います。どうか、ご協力をお願いします。新しい年度はすでにスタートしています。みなさんの声をどんどんお聞かせくださいね。

会長 高嶋 みえ



全国大会&ブロック大会

☆全国大会（札幌）

と き： 令和7年9月20日（土）～21日（日）

と ころ： 札幌パークホテル

北海道札幌市中央区南10条西3-1-1

☆ブロック大会（岐阜）

と き： 令和7年11月8日（土）～9日（日）

と ころ： ホテルグランヴェール岐山

岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通6-14

その他の予定

- ・令和7年9月28日（日） ふれあいフェスティバル（旧コロニー祭）
- ・令和7年10月12日（日） 障害者と市民の集い～風に吹かれて交流広場 in 栄（オアシス21）
- ・令和7年12月7日（日） 障害者週間 障害者と市民の集い（中区役所ホール）
- ・令和7年12月6日（土） 愛知県心身障害児（者）福祉大会（白壁庁舎）



守る会60周年記念コンサートが開催されました！

令和7年5月17日第60回守る会定期総会後に、
「ぽかぽか」のみなさんによる記念コンサートが開催
されました。
優しい雰囲気に参加した子供たちも自然と笑顔に！
当日の様子は、ホームページからご覧出来ます。
ぜひ、みなさまも癒されてくださいね。



座談会 in 一宮のお知らせ

親がサポートできるうちはいいけど、頼れるきょうだいがいない場合はどうなるんだろう。他の施設ではどうしてるんだろ。他の方が話すのを聞くだけでもいいだろうか。

なんでもいいので、お話してみませんか～？

★施設内見学と座談会を予定しています。

★どなたでも参加OKです！ ぜひご参加ください♪

日 時 10月17日（金）13時半から

場 所 一宮医療療育センター

ゲスト 愛知医療療育センター保護者会会長 桂光雄さん

参加申し込み：愛知県重症心身障害児（者）を守る会

母親部会長 内藤志保

一宮医療療育センター 保護者会副会長

鷲津豊

名古屋市障害児者郊外指導事業

お待たせしました！

みんなでジブリパークに行こう！

と き ： 令和7年10月26日（日）

ところ ： ジブリパーク

愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1553-1

募集人数： 36名

参加募集！

会報到着後

予約開始します！

高嶋：



随筆リレー

特推連から表彰されました！



今年1月、ティンクルなごやでお世話になっている私の妹、関喜実（きみ）が特推連（愛知県特別支援推教育進連盟）から功労者として表彰を受けました。現在57歳の喜実ちゃんにとって、人生で初めて受け取った表彰状です。

高嶋会長から「喜実ちゃんを推薦したいんだけど…」と話を頂いたとき、私は思わず「えっ、なんで！？喜実ちゃんは表彰されるような事、何もしてないよ」と返答してしまいました。確かに喜実ちゃんは『何もしてない人』です。しかし、この『何もしてない人』ということが、重い障害を持った喜実ちゃんにとって、どれだけ大変な努力と頑張りによってなしえている事なのか、今回の受賞で改めて実感させられました。



喜実ちゃんは、ティンクルなごやへ入所するまで36年間の長きに渡り、他県の国察施設にお世話になっていました。ティンクルへの転院が決まって退院する日、施設の全職員の方々が玄関に並んで見送って下さったのですが、そのとき何人もの職員の方から「辛いことがあると、いつも喜実ちゃんに会いに行った」とか「愚痴をこぼすとき、悲しんでいるとき、いつもにこやかに微笑んで聞いてくれた」そして「喜実ちゃんにとって名古屋に移れるのは良かったけど、私たちの癒しの女神が去ってってしまう」と、別れを惜しむ言葉を聞かされました。

思い起こせば、喜実ちゃんは脳性麻痺の症状が出る前の1歳頃から愛想笑いが得意な子でした。誰とでも顔を合わせると、まるでデパート1階にいる案内嬢のように微笑んで見つめ返すのです。この生まれ持った特技のお陰で誰からも可愛がられてきました。

幼い頃は、酷いてんかん発作で何度も救急車のお世話になり生死を彷徨いました。入退院を繰り返した後、肢体の自由が奪われ寝たきりになって今年で57年になります。

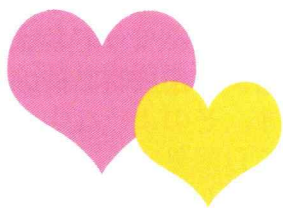
3年前に嚥下機能の低下に伴い胃ろうとなったことで、唯一の楽しみだった口から食べる喜びも奪われてしまいました。そして骨粗鬆症ゆえの骨折や膠原病の皮膚疾患なども経験しましたが、ティンクルのスタッフの手厚い看護のお陰もあり、その都度治癒して乗り越えてきました。あれほど流行したコロナやインフルエンザにも喜実ちゃんは罹患しませんでした。

今では前歯がほとんど抜けてしまいましたが、お婆さんのようなクシャクシャの笑顔で面会に行った私たちを迎えてくれます。

元気な笑顔を見せてくれるだけでいいのです。それだけで家族はもちろん、ティンクルなごやのスタッフを安心させ喜ばせてくれます。それは健常者の我々からは想像も出来ない努力と頑張りによって成し得ていることで、表彰に値する凄いことですよ。『何もしてない』なんて言ってごめんなさい。

『喜実ちゃん！あなたは偉い！！あなたは凄い人です！！』

関 純一



おめでとう
ございます





赤い羽根共同募金配分事業

大人気のメロン狩り！

みんな元気に行ってきました！



メロンってこんな風に収穫するんだね。
すてきな体験、ありがとう！



守る会のレクに初参加！

今日は、私達親子にとってとても良き日になりました。守る会に入り10年目になるでしょうか。施設暮らしの私達にとっては、親子共々の参加は家族会での経験しかなく、娘を連れて守る会のお楽しみ会に参加するのは初めてとなりました。

未だコロナ禍の面会外出制限があり、月一回の外出にける思いは相当濃くなります！！外出経験が皆様に比べると格段に少なく、毎回忘れ物などあり親子でドキドキでした。しかし、来てみると体調も安定していて、皆さんに「初めまして！」と声をかけてもらってニコニコ笑顔が見られました。いつも施設のお友達職員の方々との交流なので娘にはとっても新鮮で、とっても嬉しかったのだと思います。「お母さん！今日はどこに来ているの？みんなと会えて嬉しい！」と娘の声がしっかり伝わってきます。

今日は暑さのため、交流会から参加させて頂きました。他地域の皆様との交流はとても大切ですね。お話できることが楽しく時間が経つのがあっという間でした。また、食事でお手伝いして頂いた方にも大感謝です。いつも経管栄養ですが、今日は最後にヨーグルトバナナをおやつで食べることができました。ミキサーで作って下さった方々のおかげです。ありがとうございました。

コロナ禍から時は過ぎ5年。我が施設では未だ面会制限があり、ベッドサイドに入ることができていません。長すぎてへこたれそうですが、こんな時に他の施設の様子など聞けることもとても大切で励みになるものです。そのような中、守る会の行事だということ、また我々親子の想いをくみ取って日曜外出を許可して下さいました施設の先生にも感謝です。今日の様子を、娘オリジナルの「にっこり通信」に早速書き、先生はじめ職員の皆様にも見て頂こうと思っています。

次に、親子共々皆様とお会いできるのはいつになりますでしょうか。残り少なくなった学校の授業を精一杯頑張りながら、外出でき、交流できる時を楽しみにしています。本日は仲間入りさせて頂きありがとうございました。



廣中暁帆・郁子（母）

